

道路建設工事業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 故の 型	労働者 規模
2017	1	15～ 16	道路法面工事において手渡の土嚢積（約5kg）作業をしている最中、中腰作業が続いた為、腰に痛みが発生し負傷した。	50	611	19	1～ 9
2017	1	13～ 14	既設コンクリート擁壁をエンジンカッターにて切断し、BHにて撤去作業中、擁壁をBHにて引いたが倒れなかったため、被災者に合図をせずに擁壁が動くかどうか確認するため、BHにて押したところ、転倒し被災者の左足膝下に擁壁が倒れた。	61	141	5	—
2017	1	9～ 10	型枠加工のため金板の切断作業中に電動丸ノコにより右手で持ち、左手により金板を押さえて切断を始めたところ、丸ノコ本体の見えない部分が左手中指に当たり、切断をした。丸ノコ操作の自分の目線位置が悪いため、左手先の部分が死角となり、また本人のなれ合い作業が起因である。	54	131	8	1～ 9
2017	1	10～ 11	軽トラックの荷台にあった5～6個の砂袋（20kg）を取り出す時に、右から左下へ身体をねじり、無理な体勢を取ったために右脇腹を痛めた。	47	921	19	—
2017	1	17～ 18	作業が終了して、両手にチェーンソーと工具箱を持ち、山の斜面を歩いて降りるとき、長靴を履いていて、落ち葉の上で足元が滑り、両手がふさがっていたため、手を突くことが出来ず、斜面を10mほど滑落し、最後に高さ4mの岩の上から舗装道路の上に左肩から転落した。	69	417	1	—

2017	1	13～ 14	工事の現場で、側溝用コンクリート製品をエンジンカッターで切断中、体位を変更した際に切断片に足を置いたため、コンクリート片の崩壊が発生し、高さ1mからバランスを崩し転落した。転落時に左足首がコンクリート製品に挟まり横に転倒、左足首を捻挫・骨折した。	28	418	1	1～ 9
2017	1	13～ 14	山林道新設工事現場に於いて、チェーンソーで木を伐採作業中、勢いで手が滑り、左大腿部に刃が当たり切傷する。	50	136	8	1～ 9
2017	1	16～ 17	負傷者が現場作業道具を片付中、後退してきたバックホーキャタピラーに足甲部を轢かれ負傷した。	40	142	7	—
2017	1	15～ 16	走行中、前の4tダンプが信号待ち車両があったため停止しようとしたところ、後から走っていた本人運転の車が追突した。	45	221	17	30 ～ 49
2017	1	15～ 16	走行中、前の4tダンプが信号待ち車両があったため停止しようとしたところ、後から走っていた車に同乗している車が追突した。	40	221	17	30 ～ 49
2017	1	16～ 17	工事現場で擁壁の型枠を組み立てる作業をしている時に、足を滑らせて転倒し、型枠に衝突し、左頬骨骨折と左こめかみ部分を切り、左肩を打撲する怪我を負った。	69	413	2	1～ 9
2017	1	15～ 16	林道工事において、伐採した木を搬出作業中に足を滑らせて転倒し、約20m程斜面を転がり落ちた。	77	711	1	—
2017	1	14～ 15	県道改良工事現場に於いて、ディスクグラインダーを使って型枠を取り除くため、合板の切断作業を行っていたところ、回転中のグラインダーの刃が合板にくい込み、その反動でグラインダーが跳ねてきたため左手で払ったところ、回転しているグラインダーの刃で左手指に切断創等を負った。	32	153	8	—
2017	1	15～ 16	被災者は、現場事務所隣接の資材置き場にて、撤去した残材を片づけ整理するため、携帯用丸のこで角材（45mm角）を固定し作業して	62	131	8	30 ～

			いたところ、携帯用丸のこが反発し、右大腿部に当たり被災した。				49
2017	1	17~18	現場での仕事が終わりに、事務所に戻り片付けをしていた際、材料を運ぼうとして持ち上げたが重く、手が滑って落とした拍子に後ろにあったダンプに右手が当たり負傷した。	63	611	3	10 ~ 29
2017	2	6~7	出社時、駐車場に車を停めて事務所前まで歩いて行ったところ、足を滑らせ転倒し胸を強打した。当日、雪が降っていて、事務所が傾斜になっている為、足元が悪かった。当日は通常通り勤務したが、その後痛みがひどくなったので、後日、病院を受診した。	57	719	2	10 ~ 29
2017	2	12~13	ASガラ置場においてダンプトラック（4t）での荷下ろし中、荷台に引っ掛かったガラを荷台上で除去したところ、ASガラと共に被災者がダンプトラック荷台から滑落し、落ちたガラに左半身が挟まったため負傷した。	65	221	1	10 ~ 29
2017	2	11~12	倉庫内において、2tダンプ荷台上で資材の積み込みを行っていた。完了後、荷台（約1.5m）から降りる際、あおりに躓き、腰部から落下した。	69	221	1	10 ~ 29
2017	2	10~11	2tダンプにてコンクリートガラを処分場に排出中に後方アオリが外れ、直そうとしていたらアオリと荷台に左手親指を挟まれ左手親指の指先を欠損した。	59	221	7	1~ 9
2017	2	10~11	吹付機械のメンテナンス中に、機械上部（2m位）より足を滑らせて転落した。	34	149	1	10 ~ 29
2017	2	8~9	北側エプロン舗装等工事の現場で、被災者（運転手）が10t散水車でコンクリート舗装に使用する真水を現場に運搬してきて運転席から下りる際に運転席のドアが、突風（現地風速9.5m/s）であおられ急激に開いたため、反動で、運転席から落ちた。	53	221	1	10 ~ 29
2017	2	14~15	消雪送水管の漏水箇所を補修の為、送水管保護の為のコンクリートを削岩機にて斫り作業中、削岩機の矢先が飛び右足の甲の部分に当	44	149	6	1~ 9

			たる。				
2017	2	11~12	当社所有の資材置場にて片付けるためU字溝の吊り込み作業中、不安定の状態にあるU字溝に上ったため足もとがぐらつき身体のバランスを失い支えようとした際、下段のU字溝の角に脇腹を強打し負傷した。	51	419	3	1~9
2017	2	17~18	現場作業が終わり、資材置場までの移動中で前方不注意により3tダンプで停車中の一般車両に追突した。	42	231	17	—
2017	2	9~10	現場にて使用していた敷鉄板を片付ける為に小型式クレーン車（ユニック）に荷上げしていた際、フックから外れ、とっさに手を出してしまった為倒れてきた鉄板に左腕を挟まれてしまった。	63	212	4	—
2017	2	9~10	現場にて使用していた敷鉄板を片付ける為に小型式クレーン車（ユニック）に荷上げしていた際、フックから外れ、左足が挟まれてしまった。	36	212	4	—
2017	2	18~19	業務にてトラックを運転走行中、前に乗用車が割り込んできた為、右へ車線変更したところ、その乗用車も同様に右へ車線変更してきた為、自車は急ブレーキを掛けスリップして横転して、受傷した。	53	221	17	1~9
2017	2	8~9	バッテリーのプラスマイナスをショートさせた。破裂して破片が顔に当たった。ちょうど近くに被災者がいて気付いたので、本人に大丈夫か確認を取り、消防へ連絡を取り病院を探してもらい緊急で診察してもらった。	74	519	14	10~29
2017	2	9~10	改良工事（2工区）の工事において、道路付近の切土面に滞水した雨水排除のため、水中ポンプにて水替え作業を行う準備中、昇降ルートでなく通行禁止にしていた法面（盛土上部）を自己の判断で通行し、足を滑らせて転落した。	55	417	1	50~99
2017	2	15~16	コンクリート舗装版を取り壊し、人力にて積み込みをしている時ダンプトラック（2t車）に積み込んでいたコンクリートが右手の甲に落ちてきた。	51	529	4	10~29

2017	2	20~21	会社一階倉庫にて、業務指示に対し被災労働者が反抗的な態度をとったことにより、カッとなった加害労働者が被災労働者の胸ぐらをつかんだ。その勢いで被災労働者はもつれるように後ろに倒れ込み、頸部等を負傷した。	25	921	19	10 ～ 29
2017	2	16~17	道路の舗装工事でバックホウが稼働しているところに近寄り過ぎ、その上、足を滑らせた為にバックホウと接触して左足を負傷してしまった。	24	142	6	10 ～ 29
2017	3	9~10	足場組立作業中高所作業において、足元の不安定及び安全保護具（安全帯）の不使用のため発生した。足場の3番目（高さ5.4m）の位置で、作業具が幅木を設置する作業を行っていたところ、誤って体勢を崩し、安全帯のフックを固定していなかったため墜落し、とっさに3段目に仮置きしてあった足場の手摺部材につかまったが、手摺とともに下のコンクリートに墜落し、裂傷及び出血した。	24	411	1	1～ 9
2017	3	7~8	土間コンクリート解体工事に着手する為、被災者は車庫にて0.15?級バックホウに取り付けるコンクリート解体用ブレーカーアタッチメント（100kg）を2tダンプトラックに積み込む作業をしていたとき、吊荷が荷台床より低い位置にあったため、ブレーカーを人力で持ち上げてブレーカーの先端を荷台に乗せた際、荷台とブレーカーの間に左手薬指を挟み負傷した。	43	521	7	1～ 9
2017	3	10~11	資材置場（当社）の解体作業中、重機で解体した鉄骨が足元に落下し、右足第一指粉碎骨折・第二指骨折を負った。	47	521	4	10 ～ 29
2017	3	16~17	現場材料等撤収時、溶接機を2tダンプ荷台に3人で積込中荷台が高い為、溶接機の底に手を入れ荷台に積み込んだ時、キャスターが付いていたが、手を奥に入れすぎ、キャスターより下に付いていたカバーとの間で指を挟み負傷した。	63	611	7	1～ 9
		21～	夜センターラインの照度確認のため1人で写真撮影している際、黄色の作業車が南側車線の路肩に停車していた。写真撮影のために対向				1～

2017	4	22	車線に黒板を持って出たところ、東から西方向に走行し作業車を追い越し中の車にひかれた。	68	231	17	9
2017	4	11~ 12	大型ダンプの荷台を洗浄するため、車側面のはしごに登っている時、足を滑らせ高さ約2mより落下し負傷した。	60	221	1	30 ~ 49
2017	4	8~9	草刈り機にて草刈作業中に、段差にはまり機械から振り落とされて転落し、ハンドルレバーが手に引っ掛かり、草刈り機のレバーがバッグギヤに入ってしまった、自分の方に向かってきて轢かれた。	59	169	6	10 ~ 29
2017	4	7~8	工場敷地内から敷地外にあった空ドラム缶（直径570×高さ875）を足場にしてフェンス（高さ1000）を乗り越えて敷地外に出て、出入口の門扉を開けようとしたところ、空ドラム缶が倒れてバランスを崩し、背中を強打してあばら骨2本を骨折した。	63	611	1	10 ~ 29
2017	4	11~ 12	下水道工事現場で、仮設資材片付として敷鉄板撤去作業中、鉄板吊具の装着状態が不完全であったため（玉掛け作業の確認不足）、鉄板が倒れ受傷した。	44	372	5	1~ 9
2017	4	8~9	土木工事現場にて、クレーン機能付油圧ショベルでコンクリート柵と鎖に繋がれたグレーチングを同時に吊り上げ、4tユニック車に乗せる作業をしている際、当人がユニック車の荷台に乗って吊り上げられたコンクリートの柵に手をかけて降ろそうとしたとき鎖が切れて、グレーチングが左足の脛にあたった。	50	211	4	1~ 9
2017	4	16~ 17	仮置場で、0.7?級バックホウをクレーン仕様で使用し、オペ1名と玉掛者と被災者（補助作業員）でトラックから荷降ろしを行っていた。オペレーターは玉掛者から荷降ろしをする合図があったのでバックホウのブームを下げたところ、吊りワイヤが滑り吊っていたU字溝のバランスが崩れた。被災者が荷振れを止めようとして、吊荷に対して左手をかざしたところ、右手を仮置き済みのU字溝の上に置いた時、静止してなかった吊荷を仮置き済みプレキャストU字	64	372	4	30 ~ 49

			溝に右手親指を挟み負傷した。					
2017	4	16～ 17	アスファルト舗装上にて、防音シート架台の高さ1.8m部分において防音シートの取り付け作業中、突風が吹き風であおられた際、架台の足元がガードレールに縛られていた為、ゆっくりと架台が倒れ、被災者は安全帯を手摺に取り付けていた為、両手で手摺を持ち踏ん張って地面に着地し、左足関節内果折骨折した。	49	719	5	1～ 9	
2017	4	11～ 12	工事現場に仮設したL型擁（2.25m）の専用金具を取り外しようとした際、思いのほか簡単に外れた為、反動でバランスを崩し足元が濡れていた為、滑り転倒した。その際とっさに左手を着いた為、そこに体重がかかり負傷した。	59	418	2	1～ 9	
2017	4	14～ 15	県道拡幅工事において斜面にある木を倒す作業を行っている時に、倒した木の一部分がはねて見張りをしている被災者に当たり負傷した。	48	712	4	1～ 9	
2017	4	9～ 10	弊社ガレージ内にて鉄製のパレットを作製中、角パイプを両手で抱え、床にあった部材等を跨いで運搬しようとした時、角パイプにつまずき、部材等にのしかかるように転倒した。	68	521	2	10～ 29	
2017	4	11～ 12	研究棟の内装解体を行っていた時、3階のフローア中央で解体作業中に、長尺のカーテンボックスの上部の枠（W300L5000T30）の板を運び易くする為に継手部分で2つに折ろうとした。セーバーソーが近くに無かったので扉のサッシ部の上に板を置き上に乗って折ろうとしたところ、塗装がしてある面で足を滑らせコンクリート床面に尻もちをついた。	64	416	2	1～ 9	
2017	4	16～ 17	道路工事現場にてトラッククレーンで搬入した鉄筋の荷卸し作業中、トラッククレーンの荷台で作業員本人が高齢であったため、バランスを崩し地面へ転落した。	66	211	1	1～ 9	
2017	4	16～ 17	被災者は当日自社資材置場にて、資材の片付整頓をする作業を行っていた。集水柵を移動しようとした際、集水柵に胴巻をしていた玉掛けワイヤーが上方に滑り、資材を支えていた被災者の足に乗り	46	372	4	10～	

			右足を負傷した。				29
2017	4	14～ 15	倉庫で材料の片付をしていて上側の棚で作業中に、下の土間の方へ降りようとハシゴを使い降りる時に左足が滑って1m位の所から落ち、鉄筋で加工した吊荷用具に左腕が当たり、土間コンクリートで左肩を強打した。	62	371	1	1～ 9
2017	4	10～ 11	トラック道新設現場に於いて、何段も石と丸太を組んで道を作ったので、足場の下から丸太に手を置いて上に上がろうとしていた所、法面にあった約30cm位の石が移動していた重機の振動で左手中指に落ちた。	60	523	4	1～ 9
2017	4	8～9	交差点先で、本社資材倉庫よりユニック車で資材搬送中、一時的に低血圧により意識を失ったと思われ、反対車線にはみ出し、停車中のトラックに衝突した。	68	221	17	30 ～ 49
2017	5	14～ 15	現場内資材置場で、型枠取付の為に単管を持ち上げた際、足元に転がっていた直径約5cmの石を踏み左足首をひねり怪我をした。	30	417	19	30 ～ 49
2017	5	19～ 20	出張先のビジネスホテルでチェックインを済ませ、2F部屋に向かう階段で足を滑らせて、左足首を骨折した。	37	413	19	10 ～ 29
2017	5	16～ 17	本社倉庫内の資材棚にハシゴをかけ、水路工事で使用する塩ビ管の在庫確認作業を行っていた際、塩ビ管の1本を引っ張ったところ、隣に積まれた材木（10～20cm角、長さ1～2m）の一部が崩れ頭部～肩部にぶつかりハシゴ上でバランスを崩し約1.2mの高さから落下し被災した。脳内に異常や出血も見られず、心肺機能にも異常は見られなかったが、右肩部の骨折と診断された。	63	371	1	30 ～ 49
2017	5	9～ 10	勾配のある地山法面で、伐採した樹木の枝打ち作業に移動する時、一部分が急勾配（約40度）になっている所で法面下方に足を滑らして転倒した。その際に、切株の突起物に接触して左肩甲骨を骨折	65	711	1	10 ～ 29

			し、そのまま滑落して強く手を着いた際に左手首も骨折した。				
2017	5	11～ 12	撤去作業現場（市道）において、1人で当該標識の撤去作業中、切断した支柱が倒れてきたので左手を出して受け止めようとしたところ、滑って受け止めきれなかった為、とっさに右手を出して支柱の根元を押さえたが押えることが出来ず、そのまま支柱と地面との間に右中指を挟んだ。倒れてきた支柱を無理に押さえようとしたための事故であり、当該主原因は本人の注意不足や安全意識欠如の他、被用者側からの安全教育（緊急時の退避等）不足等が考えられる。	43	419	7	10 ～ 29
2017	5	8～9	鉄板敷設作業の玉掛け作業中に、被災者が鉄板の玉掛け金具を外していたところ、クレーン機能付バックホーオペレーターは、玉掛け金具が外れたと思いブームを起こす操作を行ったところ、鉄板が吊り上り、被災者は体勢を崩し右側へ転倒した。その際にずれた鉄板が左足首辺りに衝突し負傷した。	31	521	3	100 ～ 299
2017	5	16～ 17	裏資材置場において、被災者はごみ集積場所から手押し台車で加害ダンプの助手席側横を通り抜け、倉庫に戻る途中だった。加害ダンプの運転手は材料を探しに材料置場へ行き、そのあと運転席へ戻り、車を後進させた時、ダンプトラック後方にて手押し台車を押して歩いていた被災者に気付かずダンプに巻き込み被災させた。被災者は敷地内の整理、清掃が主作業であり、また、現場には二人以外は誰もいなかった。	80	221	18	50 ～ 99
2017	5	16～ 17	路肩で、規制標識の解除終了後、規制車に乗り込み、シートベルトを着用する前に大型車両（キャリアカー）が右後方に追突した。その際に約5m下の車道に規制車ごと転落し、車は大破し、乗車していた3名が負傷した。	40	221	17	10 ～ 29
2017	5	14～ 15	側溝工事作業現場で吊荷作業中、吊荷が中心より横ブレを起こし、吊荷に体が押されて掘削してあった90cm下に落下し、左足を骨折した。	46	142	1	10 ～ 29
			林道開設工事のため法面を切土した土砂をパワーショベルで積み込				

2017	5	9~ 10	み不整地運搬車に残土を100m位上流側の残土置場に搬出していた。残土を積み込むため残土置場から、パワーショベル付近に向かって上っていたところ、路肩に寄り過ぎたものと思われ、約17m下の谷側に転落した。	66	227	1	1~ 9
2017	5	10~ 11	本人の家の古い墓地が小高い山の上であり、お墓の撤去をするために、運搬車（トップカー）を通す必要があり、道幅が狭いため道をひろげるのに、自宅より本人所有の古いバックホーを使用した。山側を少し削る予定だったが道幅が50cm位しかなく、急坂な事と、路面の凹凸もひどく谷側の地面もずいぶんもろいため作業開始からしばらくして、バックホーごと縦に転がったが、本人は投げ出され、下敷きにならずに済んだ。	64	141	2	1~ 9
2017	5	2~3	支障木をルートに従って伐採をし、約2.8mに掘削して道を造り、杉丸太で法面工をし、最終目的地まで施行していく際、最後の仕上として地均しをする。その際に1名が運搬車に土砂を積込み、現場へ持って行きダンプして下ろし、1名がその土砂を地均ししていくとき、なぜキャタピラの上に足を置いたか不明だが、キャビン運転席の下に巻き込まれた。	58	172	7	1~ 9
2017	5	8~9	会社駐車場で現場に向かう前の朝のトラック点検をしている際、中の点検を終えて外に出ようとした時にステップから右足を踏み外し、左側から地面に落下し、腕を負傷した。	48	221	1	10 ~ 29
2017	5	13~ 14	現場内にて、2tダンプトラックの荷台に積載した落蓋式横断側溝（250）を荷卸しのために吊り金具の調整を荷台の上で行っていた際に、それを手伝うために2tダンプトラックの側面より乗ろうとしていて、傾いていた側溝とボディの隙間に左手を掛けたときに吊り金具の調整を行っていた人の足が側溝に乗り、製品が動いて左手を挟んだ。	28	523	7	50 ~ 99
2017	5	10~	山林内で立木を伐採中、バックホウのバケットが立木に引っ掛かり、バックホウが傾きかけたので慌てて降りようとした時、膝を強	33	142	19	1~

		11	く捻った。					9
2017	6	15～ 16	法面補修工事現場において、法面整形作業中に地中にあった鉄製の土留枠に気付かず踏んだ際に、左足底部を負傷した。	34	418	3		1～ 9
2017	6	14～ 15	事務所前の玄関を出て階段（4段）を下りる際、階段のタイル上で足を滑らせ転倒し、被災者本人の足の上に尻もちをつく形となり負傷した。	24	413	2		30 ～ 49
2017	6	16～ 17	歩道切り下げ工事中、その日の作業が終わるので、使用した道具や残材を片付け中に、めまいと吐き気に襲われた。発生当日の気温は34℃、直射日光の下での作業で、日陰となる場所がなかった。	68	715	11		1～ 9
2017	6	11～ 12	抜根・掘削時、バックホウの爪交換作業中にセットハンマーのヘッド部分と柄が離れてしまい、ヘッド部分が左手中指に当たり、被災した。	38	364	6		30 ～ 49
2017	6	13～ 14	大型土のうの撤去作業中、バックホウで4tダンプに大型土のうを積み込み、バックホウの吊りフックを外した時に、斜路にエンジンを掛けたままの4tダンプが動き出し、バックホウのバケットが大型土のうに当たり、大型土のうがずれて、4tダンプのキャビン側のアオリと大型土のうに挟まれ被災した。	59	221	7		1～ 9
2017	6	16～ 17	盛土材料（土砂等）の仮置場にて、タイヤローダーで盛土材料を仮置場に運搬するためにバックをした際、土砂等で盛り上がった部分に乗り上げてしまいバランスを崩し、タイヤローダーが横転したものである。	21	523	2		10 ～ 29
2017	6	14～ 15	当日は雨が降っていたので、会社の指示で各現場からあがってきた残材、資材等の整理、片付け作業をしていて、再利用する型枠用算木（幅5cm×奥行2cm×長さ150cm）を軍手をした両手で持ち、資材置場の棚に置こうと手を算木の上で横にすべらせた時、算木が割れ、ささくれ立っていてトゲのように突き出ていた木の角に、指先を突き刺してしまい受傷した。	61	522	8		1～ 9

2017	6	9～ 10	道路の伸びた雑草を伐採している作業中、右足の外側脛の部分を草刈機によって裂傷したものである。	62	169	8	10 ～ 29
2017	6	14～ 15	当社敷地内で、ゴミ集積所を作る作業をしていたところ、約5cm程の段差に躓きバランスを崩して、足の足首を強くひねってしまい負傷したものである。	63	417	1	50 ～ 99
2017	6	13～ 14	道路改良工事現場で、KJ側溝を荷造りとして結束しているスチールバンドをバールで切った際に、KJ側溝が1枚、被災者の左足甲に倒れた。	39	529	4	50 ～ 99
2017	6	9～ 10	砂防堰堤を整備するための工事用道路工事において、支障木伐採作業後、次の作業箇所へ移動する際、急斜面で、足元が木枝や落葉等により不安定な状況だったため、足を滑らせ転倒し、斜面を3m～4m程転がり落ちた。	32	711	1	1～ 9
2017	6	8～9	会社所有の軽トラックで、道路除草作業の箇所範囲を確認して集合場所に帰る途中、一時停止して右折しようとしていたところ、後ろから2tトラックに追突され、首と腰を強打した。	30	221	17	1～ 9
2017	6	14～ 15	鉄筋を組んでいた時、その鉄筋のL型アングルをベビーサンダーで切っていた。刃が入らなかったため安全カバーを外して作業していたところ、ベビーサンダーの刃が割れて欠片が飛び、顔が切れ、工具が跳ね返り、顎に当たった。	42	159	4	1～ 9
2017	6	9～ 10	会社の倉庫で階段を下りていた際、足を滑らせ転倒しそうになり、階段の手すりに掴まったところ、肩に違和感を覚え、右肩腱板断裂の診断を受けた。	58	413	2	10 ～ 29
2017	6	15～ 16	舗装現場町道でユンボはセメント処理（不陸整正）、被災者はその後方で地盤を均す手作業中、ユンボとの間隔があまりなかったことと、もう一台のユンボが作動中で、被災者はバックしてくるユンボの音に気付かず、接触し事故に至った。ユンボ運転手の周りの安全確保と、被災者の機械作業エリアへの接近が原因と思われる。	47	142	6	10 ～ 29

2017	6	11~ 12	倉庫の整備中、台の上で作業をしていて、滑って台の角に胸を打ち、骨が折れた。	63	416	3	1~ 9
2017	6	16~ 17	ダンプトラックを運転中に左膝に違和感があった。ダンプトラックを降りた際、左膝に痛みがあり歩行が困難な状態になっていた。	63	221	1	1~ 9
2017	7	13~14	除草作業中に、濡れていた草に足を取られ、作業機械ごと5メートル程滑り落ちた	60	711	1	30 ~ 49
2017	7	12~13	労働者が国道を舗装中、国道沿いの建物の駐車場から乗用車が道路に出た際、ブレーキとアクセルを踏み間違え前方の乗用車に追突し、その衝撃でハンドルを切っけてしまい、工事中の労働者と他作業員の合計2人に接触し、さらにコンバインドローラにぶつかり停止した。	59	231	17	10 ~ 29
2017	7	17~18	現場から事務所に戻り、トラックから資材、工具を片付ける作業中、荷台から降りた時に右足首をひねって負傷したもの。	23	221	3	1~ 9
2017	7	13~14	現場で刈り払い作業中法面の高さ1m、法面の角度45° 午前中から小雨が降ったり止んだり足元も少し滑りやすく、前日の作業でもイノシシが掘った穴が見つかり被災者も注意はしていたものの、左足首をケガしてしまった。刈り倒された草で穴も見つけにくかったのも原因の一つだと思われる。	54	719	2	10 ~ 29
2017	7	14~15	荷物積み込み作業中に、大型トラックから一斗缶32個（1パレット）の荷物を後ろ向きで引っ張ろうとしたときに、右足首を痛めてしまった。その場から一歩も動けなくなり、すぐに救急車を呼んだ。	45	153	8	1~ 9
2017	7	9~10	道路工事現場で路面切削作業中にバックホーで路面切削機の後方で舗装版を取り壊す作業中に後方確認をせずに、バックホーを後方に動かしてしまい、作業員の両足を轢いてしまった。右足の甲を骨折・左足は足首周辺を打撲させてしまった。	26	142	7	10 ~ 29
			工事において、リチャージウエル撤去段取り作業中、定規鉄板を設				

2017	7	11~12	置したのち、1.5?の水タンクを吊るために吊具を装着したままクレーンを6m移動した。被災者は、玉掛のために水タンクの位置に移動した。クレーン移動完了後、子フックを下げた時に、吊具が子フックから外れて落下し、被災者の右腕及び右手にぶつかった。	67	372	4	1~9
2017	7	10~11	支社機材置場にて、コアボーリングマシンを専用車両から荷下ろし中誤ってコアボーリングマシンのキャスター部を右足に当て、右第2中足骨を骨折した。	43	143	3	10~29
2017	7	11~12	道路改良工事に伴う舗装工事の施工中に作業員が後進してきた転圧機械に気づき退避しようとしたところ、既設舗装と路盤面の段差5cmにつまずき転圧機械に左足甲部が接触した。	65	144	6	10~29
2017	7	11~12	道幅2m程の道路で舗装工事をしている道路にローラーをかけていた際に片側の壁に気をとられていて反対側の作業員に気がつかずまた作業員もローラーに背を向ける形で作業をしている右足がローラーに踏まれてしまった。	21	144	7	30~49
2017	7	13~14	道路改良工事現場においてU字構設置作業中。U字構の高さを調整するのに、労働者Aと各々U字構の上にサンギを置き、それを叩いて作業をしていたが、労働者AのサンギがU字構の上から、転がりそうになったので、止めようと手を出してしまい、左手中指、薬指を叩かれ負傷する。	44	364	7	1~9
2017	7	16~17	高所作業車による剪定作業中、切断した枝葉が、下部の落下防止柵に落下し、その跳ね返りで、5m離れた場所で清掃をしていた作業員の右ひじ上に接触した。	63	712	4	1~9
2017	7	16~17	工事作業現場トンネル上り線内にて、トンネル内監視員道路、中詰作業中約2m先の施工箇所へ移動する際幅17cmの堅壁の上を歩いて移動時にバランスを崩し、トンネルの壁側（ハンドホール）に落下した。その際左腕が堅壁の上部にあり全体重を支えるように接触し被災した。	63	416	1	1~9
			町道での作業中、雨水防止のブルーシートを交換するためブルー				1~

2017	7	10~11	シートを張っていて、鉄板でない所で4m下に落下した。	63	416	1	9
2017	7	13~14	右岸上流側の工事現場で、右岸側斜面の途中にある工事箇所へ向かう際、設置されている仮設安全通路（階段等）を利用せず、斜面を、親綱をつたい降りていたところ、足を滑らせ14m下の谷底へ転落した。	51	711	1	30 ~ 49
2017	7	13~14	資材倉庫内の2階から1階へ通じる階段において、機械・資材を確認後階段を下りている時に足を踏み外し被災した。	54	413	1	10 ~ 29
2017	7	14~15	倉庫にて、コンクリート用養生マットを片付ける際に、養生マットが単管組（養生マットを干す設備）に引っ掛かり、作業床のない上記単管組をよじ登り、バランスを崩し、高さ1.7m下のコンクリート舗装へ左足より落下した。	42	411	1	10 ~ 29
2017	7	6~7	弊社の倉庫から入船の現場へ3トンダンプで移動中、ガードレールに左前方を激突し、約10メートル車体を擦って停車した。運転手は怪我をしていないが、助手席同乗者は左足を負傷し、左足を固定するための手術を受けた。原因は、運転手が右手でホルダーからペットボトルを取ろうとし、一瞬、脇見をしたことによるものである。	51	221	17	50 ~ 99
2017	7	12~13	道路の草刈り作業現場で、昼食を取るため、軽トラックの荷台に4人を乗せ、50メートルほどバックで移動した。停車しようとして減速した際に、荷台に乗っていた1名がバランスを崩して落下した。軽トラックの後輪で被災者に乗り上げ、巻き込む事故が発生した。	37	221	7	1~ 9
2017	7	11~12	現場にてサイロの中に残ったセメントを1トン袋に出す作業中誤ってバランスを崩し、高さ約2.5mから落下し骨折した（ヒビが入った）	70	391	1	10 ~ 29
2017	7	14~15	防雪柵に絡みついた雑草や蔓等の除草作業中、右足を防雪柵下部（地上高90cm程度）の上に置き、左足を転落防止柵（地上高110cm程度）の上に置きながら作業をしていた。作業を終えて下に降りよ	24	418	1	50 ~ 99

			うとした際に足を滑らせ落下し、右足が防雪柵に接触し負傷した。				
2017	7	9～ 10	U字溝をユニックに積込み時、積込み後に荷台から降りようとしたとき、巻込み防止に足を掛けて降りようとしてバランスを崩し、咄嗟にU字溝を掴んだが、発生材のU字溝だったので、モルタルが付いており、それが剥がれて転落した。転落したときに右足を着いたが、勢い余ってそのまま転倒した。	63	221	1	10 ～ 29
2017	7	14～ 15	取付道路の舗装作業中、A氏は、ガスバーナーで炙ってもらいながらのコテ作業中であったため、バーナーの音でバックホウの音に気付かなかった。B氏は、バックホウを使用し路盤の修正を開始し、後方確認を怠った。その結果、キャタピラでA氏の右足を巻き込んだ事故である。	37	142	7	1～ 9
2017	7	13～ 14	工事施工場所へ向うため、徒歩で路側帯内を進んでいたとき、後方から走って来たライトバンにはねられた。	33	231	17	1～ 9
2017	7	8～9	当社木材加工場において、材料の整理整頓作業を行っていた。その際、床に置いてあった1m程の端材を移動させようと手で持上げたとき、腰に激痛があり、その場に座り込んでしまった。その後は人の手を借りないと歩けない状態になってしまった。	24	522	19	50 ～ 99
2017	7	13～ 14	幹線水路（第1区間）維持管理等業務において、外部進入路内10m付近で、交通規制用看板の荷降ろし作業中、トラック荷台アオリを開いたときに荷が崩れ、工事看板が滑り落ちて、右膝5cm上に衝突した。	60	221	4	1～ 9
2017	7	13～ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業用車両（ユニック車）に突っ込み、そのはずみでユニック車に撥ねられ負傷した。	45	221	17	10 ～ 29
2017	7	13～ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業用車両（ユニック車）に突っ込み、そのはずみでユニック車に撥ねられ負	40	221	17	10 ～

			傷した。				29
2017	7	13～ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業用車両（ユニック車）に突っ込み、そのはずみでユニック車に撥ねられ負傷した。	28	221	17	10 ～ 29
2017	7	13～ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型トラックが運転手の操作ミスにより、作業中の被災者に衝突し即死した。	47	221	17	10 ～ 29
2017	7	11～ 12	高速道路にて、走行車線上の舗装完了後、バックホウについた合材をオペレーター1人、清掃員1人で清掃していた。清掃員は、草すきを右手で持ち清掃を行ったが、草すきで除去出来なかった合材を左手で取り除こうとした。しかし、オペレーターは、右手が離れたために清掃作業が完了したと思い込み、操作をしたため、ブームとバケットの接触部分に清掃員の指が挟まれ負傷した。	45	142	7	1～ 9
2017	7	13～ 14	4路線舗装道補修工事及び、セメントミルク注入工事の際、セメントミルク攪拌のため、散水車で水を汲み、両手にポリタンクを持ち移動するとき、養生ベニヤ（薄ベニヤ、厚さ約3mm）に躓き転倒し、膝を強打し負傷した。その後は終業時刻まで仕事を続けたが、帰宅後に膝が腫れ、痛みが出てきた。	60	417	2	10 ～ 29
2017	7	16～ 17	土場にて、障壁を乗り越えようとしたときに足を滑らせて転倒し、左脇腹辺りを強打し受傷した。	74	417	2	1～ 9
2017	7	14～ 15	工事現場の法面で植生作業中、ハチが飛来し、咄嗟に法面を駆け下りたときに左脛を捻り、骨折した。	21	416	19	1～ 9
2017	7	15～ 16	一車線規制をしている中で舗装工事をしていたとき、規制用のカラーコーンに走行車両（一般通行車両）が接触した。その際、カラーコーン上部のピカピカライト（保安灯）の乾電池が飛散し、被災者の右肘に当たった。	34	231	4	1～ 9

2017	7	23～ 24	市街地標識設置のため、道路を規制して作業中、資材車から標識板（2.5m×0.6m、約30kg）1枚を作業員2名で取り降ろしにかかったところ、被災者が標識板の中央部にいたため、邪魔になると思い避けようとしてバランスを崩し、道路脇（高低差1.4m）に転落した。	35	418	1	1～ 9
2017	7	13～ 14	路肩改良工事の型枠作成にあたり、被災者が丸鋸で型枠部材を切断中、片手で電動ディール線を引き寄せたため不安定になり、跳ね返りを防ぐことができず、誤って右大腿部を負傷した。	32	364	8	1～ 9
2017	7	11～ 12	振動ローラーで締固めの作業中、駆動輪が空転したので停止し、近くの人に手伝ってもらおうと思い降りようとしたが、地面が傾斜していたために空走し始めた。レバーが前進に入ったままだと勘違いし、慌ててレバー操作したとき、誤って前進方向に更に進行したため、身の危険を感じて飛び降りたところ、2.2m位の高さから落ちて石足を強打した。	39	144	1	1～ 9
2017	7	14～ 15	路肩規制を行い、草刈作業を実施中、警備員の笛の指示に従い作業を中断し、車両が通過するのを待っていた。その際、左外側線より草刈機の先端が車道に出ており、後方より走行して来た軽乗用車の前方と接触した。その反動で左横方向に一回転し負傷した。	24	231	17	1～ 9
2017	7	16～ 17	工事現場で、舗装版をバックホウを使って剥ぎ取り中、舗装版と水路に足を挟まれた。	43	142	7	10 ～ 29
2017	7	10～ 11	ダンプトラックで砂を荷下ろしした後、後方部のあおりの角で手を挟み、左手薬指（第1～第3関節）を負傷し、数針縫う怪我を負った。	22	221	7	30 ～ 49
2017	7	19～ 20	夜間工事の準備中、10t車に載せていたバックホウを点検・確認し、降りようとしたときに足を滑らせ、約2.0m下に転落し、左手首・左臀部・額を打撲した。	53	221	1	10 ～ 29
2017	7	7～8	4tダンプに資材を積込んでいるときに資材が落下し、4tダンプから飛び降りたときに足を捻挫したと思った。痛みがあり病院に行った	67	221	3	10 ～

			ところ、骨折と判明した。					29
2017	7	13~ 14	現場にて、寒冷紗のたるみを直そうとして鋼管を支えているとき、突風で寒冷紗が煽られ、鋼管が浮き上がり、バランスを崩した。斜面（勾配1.2割程度）から6m程回転しながら転落した。	47	711	1	~	30 49
2017	7	17~ 18	防護柵（GR・GP）設置工事の作業をしていた際、作業が終わり、トラックに乗ろうとしたときに立ちくらみがした。大丈夫だと思って事務所へ向かったが、体調が戻らず、途中で救急車を呼び、病院へ搬送された。	33	911	90	—	
2017	7	11~ 12	法面でロープを設置する作業中に、足を滑らせて（想定）、6~7m下の道路に滑落した。当時、ロリップをロープに接続していなかった。	39	711	1	1~ 9	
2017	9	8~9	ビームリフター（13m）を使用してニセアカシアの枝切りを1名で行っていた。伐採木の切断部にチェーンソーの刃先が挟まり、外れなくなってしまったため、左手で伐倒木を外そうとしたとき、チェーンソーの刃先が急に外れ、左手の平から手首にかけ接触し裂傷したものである。	69	136	8	~	50 99
2017	9	12~ 13	宅地造成区画道路で舗装工事中道路上の合材をスコップで清掃していたところ、アスファルトフィニッシャーの運転手が被災労働者に気づかずに前進させたため左足を轢かれ骨折したものの。	53	149	6	~	10 29
2017	9	14~ 15	当該運転手がトンネルに差し掛かった際、先方に倒木処理をしていた車両が2台停車していた。その際、処理中の車両から声を掛けられて、援助するために当該車両から降りた。そして、ダンプ運転席ステップに立ち、当該倒木にロープを掛けようとしたところ、足を滑らせ落下、両足で着地したもの。その際の衝撃で両足（踵）を受傷した。	71	221	1	~	10 29
			歩道工事で、下請の作業員が高木（約7m）を撤去作業中（高所の枝をすべて撤去）残り約2.5mを撤去中、木に帯ひもを掛けてユニック					10

2017	9	10～ 11	で吊り上げつつ脚立の上から（地上約2m）、チェーンソーで枝を切断している時切れた枝が自分の方に向かってきた為、とっさに脚立から足がおりてしまい、左手・胸・腰のあたりを地面に強打し負傷した。	40	371	3	～ 29
2017	9	13～ 14	現場構内で、ダンプにコンボを乗せるために、30kgある歩板を架ける際に重さにたえきれず歩板と地面の間に右手の甲をはさみ、右中指末節骨開放骨折したものである。	52	379	7	～ 29
2017	9	10～ 11	当社倉庫裏の斜面で、草刈作業をしているときに、上り斜面で足場を変えたときに足を滑らし、前に倒れ、滑り落ちてきた刈り払い機の回転刃に、右手手のひらが接触し、切傷したものである。	19	711	8	～ 29
2017	9	17～ 18	山間部斜面を当日の業務が終了して、歩いて車の所まで下っていたところ斜面の一部がぬかるんでいた為、足がすべりあおむけに転倒、その際、左肩を強打し負傷した。	58	711	2	1～ 9
2017	9	6～7	駐車場でトラック荷台に載せていた積荷の積み替え作業中に、トラックの荷台から降りようとし、車体に足が引っ掛かり転落、右足首を骨折したものである。	49	221	1	～ 29
2017	9	15～ 16	台風18号の災害調査で林道に行き現場内の下り坂を下りていた時に、足を滑らして肩から落ちた、当時は、さほど痛みがなく、作業終了後帰宅した。後日、肩の骨にひびが入っていると、診断を受けた。	38	711	2	30 ～ 49
2017	9	14～ 15	当社の土場の回りの雑木を伐採中に右足が石につまずき、左足首を骨折した。	57	711	2	1～ 9
2017	9	12～ 13	昼休憩のため、作業場より戻る際、高さ1.8mの壁を梯子で乗り越していた際に、登り切った所よりバランスを崩し後方へ転落した、転落した際に、尻もちをついた様に落ちたので、衝撃で腰より背中にかけて痛みを訴えていた。	37	371	1	～ 29
		10～	法面で支障木の伐採中に思わぬ箇所から木が折れて、作業員の方に				10

2017	10	11	覆いかぶさり被災した。被災者は伐木等業務の特別教育は受講していなかった。	43	712	4	～ 29
2017	10	14～ 15	資材置き場において、資材をクレーンで平ボディーに積み込み作業中、吊荷を下している時、荷台フックに躓いて荷台より転落した際（高さ1m）右手首を負傷したもの。	33	221	1	1～ 9
2017	10	13～ 14	既設側溝を取壊し、新たに融雪側溝を設置する工事現場で取壊し及び掘削が完了し、掘削面の土留工として仮設矢板と腹起し、支保工を準備していたところ、民地側にあったブロック塀が突然倒壊し、中にいた被災者の下半身に落下した。	50	418	5	1～ 9
2017	10	16～ 17	自社置場において、軽量鋼矢板（2.5m）の積卸し作業の補助を荷台の上で行っていた時、吊り上げた荷が傾き、荷台と吊荷の間に足を挟まれた。	55	611	7	10 ～ 29
2017	10	9～ 10	区画整理地内の歩道舗装工事において、路床発掘時にスコップで雑草の除去作業を行っていた被災者が、フェンスの外側にある雑草を除去しようとフェンスを乗り越え、隣接する調整池の法面付近で作業中、バランスを崩して足を滑らせて調整池に転落した。	20	713	10	10 ～ 29
2017	10	9～ 10	現場作業所の地上で、上下拡張式形状保持装置を組立中、形状保持装置の内筒部を外筒部からチェーンブロックで引き出していたが、所定の位置へ引き出す前に止まってしまったため、状況を確認しようとして下斜めから覗き込んだところ、内部筒に挿入していたピンが抜け落ちピンが被災者の左手に落下し受傷した。	40	391	4	10 ～ 29
2017	10	15～ 16	現場が終了し、自社へ帰る途中、雨の中、走行して、カーブ部分でハンドル操作を誤り、スリップして車が外壁に接触してハンドル部分に胸部を打撲被災したものである。	75	231	17	10 ～ 29
2017	10	10～ 11	路肩規制内において、吸音板の取替作業中に4tユニックの荷台上に置いてあった吊具を取りに向かった際、4tユニック脇の路面上に仮置きしていた、撤去した吸音板を乗せていた台木につまずき、アスカープに手を付き負傷したもの。	39	612	2	1～ 9

2017	10	17~ 18	当社敷地内で、草刈作業を行う際、草刈機を砂利の上に置いて、保護メガネをしていない状態でエンジンを掛けたら、回ったノコ歯が砂利に当たり、ノコ歯先端が3mm角程欠けて、それが右目眼球に刺さった。当初は痛みもさほどではなかったため、砂利が目当たった程度と思っていたが、後日、目が痛み出して来た。	40	139	8	10 ~ 29
2017	10	8~9	鉄板の段差修正のため、バールで鉄板を持ち上げ角材を入れようとしたところ、バールがすべって鉄板が落下し、右手人差し指を挟んだ。	26	521	4	1~ 9
2017	10	9~ 10	埋立工事の岸壁で吸い出し防止材（エンドレスマット W=300m/m、L=3m）の取付作業をしているとき、バックホー（0.14?）がエンドレスマットの取付位置の調整のために、それをバケツで押さえていた。調整が終わったので、被災者が吸い出し防止材を右手で押さえた。バックホーのバケツで離そうとしたときにそれが被災者側に動き、コンクリートとバケツの間で右手示指の先端を挟んだ。	48	142	6	1~ 9
2017	10	9~ 10	道路維持作業中（台風21号による倒木処理）に4本の重なった倒木をチェーンソーで切断した際に、しなっていた幹がチェーンソーに当たり、そのチェーンソーが右足の膝下10cmの所に当たり裂創した。	42	136	8	1~ 9
2017	10	15~ 16	休憩中、土羽の上に板4枚重ねた上に座りお茶を飲んだ時、後ろ向きに転げ落ちた。第3腰椎を骨折した。	56	418	1	1~ 9
2017	10	8~9	当社の施工現場へは、車両置き場で車から降りた後、10m程度の距離を徒歩で通勤する。当日、負傷した労働者は車から降りた後、すぐにヤッケを着用した。その際片足を上げバランスを崩し、右足首を捻り骨折。車両置き場は坂道であるため、バランスがとりにくい状態であった。	45	911	2	1~ 9
2017	10	8~9	重機置き場で同僚とバックホウのバケットのメンテナンス作業中に、ピンが入りづらかったため、左手中指でピンを差し込む穴を確	57	142	7	10 ~

			認した際バケツがずれ、左手中指を切断した。				29
2017	11	14～ 15	測量杭設置の為に、3kg程度の重さの掛矢で高さ1.5メートルの丁張杭を打ち付けている最中に、重さ約2.5kgの掛矢の頭部が柄から外れて当該従業員の左鎖骨に当たった。掛矢頭部と柄の結合部分が打ち込み作業に伴う振動により緩みが生じた為に、頭部が柄から外れてしまった。	62	364	4	1～ 9
2017	11	9～ 10	竹伐採作業中、法面小段で伐採した竹を法面下段の作業員と搬出作業中、小段の切株に足を引っ掛けて法面下部に転落し負傷したものである。	62	416	1	50 ～ 99
2017	11	17～ 18	自社残土置場より、処分場へ残土運搬業務終了後、自社洗車場に戻り、ダンプの荷台の上に乗って洗車作業を行っていた。荷台後部あおりに挟んであったストッパーを外そうとしたところ、左手が残った状態でストッパーを外してしまい、あおり部分が閉まり左手母指を挟んでしまった。事故後、すぐ病院にて受診し、開放骨折と診断された。	55	221	7	1～ 9
2017	11	17～ 18	交差点で右折をしようとしていたところ、対向車が信号無視をして突っ込まれて負傷した。	56	221	2	30 ～ 49
2017	11	8～9	事業所内厨房で、調味料の計量後、調味料のボトルを片付けようとした時、しゃがんでボトルを取ろうとしていた社員に気が付かず、衝突しそうになった為、避けようとバランスを崩し転倒した。作業台に右手上腕を強打し、骨折する。	45	417	2	1～ 9
2017	11	14～ 15	施設内で、アスファルトフィニッシャー近くで合材の敷き均し作業をしていたところ、締め固めをしていた4tタンDEMローラーがバックしてきて、ローラーの後輪が被災者の右足に乗り上げてしまった。	55	144	6	10 ～ 29
			現場においてU型側溝を180度回転させようと、バールで少し上げて木を入れたが、木の入りが浅かったので、もう少し木を中に入れよ				

2017	11	14～ 15	うと再度バールで上げた時にバールが滑って外れ、U型側溝が落ちその衝撃で木も外れた。被災者は瞬間的に手を引いたが間に合わず、U型側溝と道路の間に右手中指を挟んで損傷した。	50	529	7	1～ 9
2017	11	13～ 14	資材置場において、同社所有のブルドーザーが後方に動き出し、後方にいた被災者がこのブルドーザーと、駐車してあった4tユニックトラックに挟まれ死亡していた。	56	141	7	10 ～ 29
2017	11	8～9	現場において、現場の状況を確認していたところ、前日刈り取った水草が水路側面ブロックに置いてあり又朝露でそれが濡れていたため、水草に足を入れた時に滑ってしまい、水路底面に落下（約2m高）してしまった。その際に底面コンクリートで右足踵部分を強打し骨折したものである。	64	719	1	1～ 9
2017	11	0～1	被害者が、作業に関して加害者を注意していたところ、加害者が、そのことに腹を立て、被害者を呼び出した。加害者は、その場にあったスコップを振り回した際、加害者の腕や頭部に当たり、負傷した。	50	921	99	1～ 9
2017	11	8～9	池の堤体で、作業スペースを確保する為に、バックホーを移動している時に、バランスを崩して、バックホーごと転倒して右手首を骨折及び腰部を圧迫骨折した。	40	142	1	1～ 9
2017	11	9～ 10	工場内舗装道路工事現場で、コンクリート製重圧管の切断作業をしている時に、ハンドカッターを引き上げる際、バランスを崩してハンドカッターがはね、左手首に刃があたり6針を縫合する負傷をした。	67	169	8	1～ 9
2017	11	11～ 12	林道改築工事の法面にシートを覆う作業等をしていたが、昼休憩の為林道横に置いてある休憩所まで降りていた時に、足が滑り1.5m位の高さより滑落し負傷した。	55	711	1	10 ～ 29
2017	11	11～	整理事業地内の道路新設舗装現場にて、路盤碎石敷均し作業中、前方方面造成のため重機を後退させていた時、重機周辺で敷均し手作	69	142	6	10 ～

		12	業を行っていた作業員が重機の接近に気付かず、重機のキャタピラが作業員の足に当たり、作業員は脛骨を骨折した。					29
2017	11	16~ 17	現場でL型擁壁（1250型二次製造）据付時（移動式クレーンにより吊り下げ時）に水系がずれていた為、系を修正しようと手を出した際、微妙に揺れていた吊荷と既設の構造物に右手を挟み負傷した。	66	212	7		1~ 9
2017	11	14~ 15	道路改良工事の作業所内で歩道アスファルト舗装の撤去作業時に当社作業員の被災者は、当日撤去したアスファルトくず集積の折、当社重機オペレーターが操作するバックホー（0.13?）のバケットにて背中を押され負傷した。作業時オペレーターの周囲の確認と、重機作業範囲内立入禁止の周知徹底不足にて事故を招いた。	16	141	6		10 ~ 29
2017	11	9~ 10	坑門背面埋戻し工事の施工管理のため、盛土材を巻き出した段差（H=30cm一層）箇所を移動する際、段差に足を滑らせて転倒し、不自然に着地した右足首に全体重がかかり負傷する。＜原因＞・盛土材を巻き出した段差（H=300）急勾配・被災者の意識が慌てていて、考え事をしていて、不注意。	47	711	1		1~ 9
2017	12	9~10	土場の片付けをしていて、消火器の解体作業中、2~3m離れて同じ作業をしていた別の作業員の消火器の中身が残っていて、中身が噴射され、赤い本体の部分（高さ45cm×直径15cm、重さ11kg）が飛んで来て骨盤に当たり、負傷した。特定の現場作業ではない。（つなぎ、上着、長靴、軍手着用）	53	391	4		10 ~ 29
2017	12	14~15	仮設落石防護柵撤去中に、玉掛け作業員がバックホウの作業半径内に入って重機オペレーターと打ち合わせを行った後に、重機オペレーターと作業員の間で作業半径から離れたことに対して合図が明確になされておらず、重機オペレーターが重機を右旋回させたところ、重機本体と大型土のうの間に作業員の左下肢が挟まれ受傷した。	41	141	7		1~ 9
			当会社内資材置場で、人の手では届かない為、6尺の脚立を使用して、鉄筋で溶接したフックに物を吊り上げる為の鉄バサミを掛け様					10

2017	12	11~12	としていた時、床面が凍結していた為か動いた時に脚立のバランスを崩し、60cm位の高さから転倒し、その時、左足すねと左腰を打撲した。	37	371	1	~ 29
2017	12	9~10	道路拡張工事の現場でU字溝蓋の加工中、エンジン付カッターで切断中に右耳が聞こえなくなりました。	53	719	90	1~ 9
2017	12	8~9	横断地下道掘削作業の重機足場を使用するため、敷鉄板（1.5m×3.0m、t=22mm）をクレーンにて移動・仮置きする際、鉄板が倒れる方向に誤って退避し、逃げようとしたが間に合わず、置かれていた水タンクと鉄板との間に右足を挟まれた。	54	611	6	1~ 9
2017	12	15~16	屋外バスケットコートで塗装作業中、脚立に上った際に足元が滑り、脚立ごと転倒して左手首を骨折した。当日は時折雪が降っており、滑りやすい状況であった。	44	371	1	1~ 9
2017	12	8~9	道路災害復旧工事の現場で、天端調整コンクリートの打設作業を3.5tのバックホーで、0.1?のコンクリートホッパーを吊り下げ、右前方の生コン車から左後方の投入箇所へ旋回打設中、コンクリートホッパーが機体の真横に来た辺りでバランスを崩し、被災者は5.5m下の仮設作業道に、バックホーは更に約20m下に転落した。	59	142	1	10 ~ 29
2017	12	16~17	勾配のある場所でブロック積作業をしていた際、ブロックを持って移動させようとしたとき、右足に体重がかかり、右足を捻るような形になった。	23	611	19	50 ~ 99
2017	12	14~15	本工事ブロック積の取り付け石積を作業中、移動式クレーンで約30kgの間知石をワイヤーロープで吊り降ろし、ワイヤーから外したときに右足に転び、打撲した。	66	611	6	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html